

つながろう、心で 広げよう、笑顔の助け合い！  
「地域助け合い基金」で コロナ禍を乗り越えて共生社会へ

記入例  
(新規活動立ち上げのケース)

助成 申込書

記入日: 2022 年 〇 月 〇 日

団体申込の場合は所属の役職をご記入ください

1. 申込担当者情報

所属区分	団体 → ( 法人格: あり <input type="checkbox"/> / なし <input checked="" type="checkbox"/> )			財団 記入欄	—	
担当者名	幸福 太郎	ふりがな	こうふく たろう	役職名 (団体の方)	副会長	
担当者 Email	koufuku-taro- happy @ email.com		担当者 携帯	〇〇〇 — 〇〇〇〇 — 〇〇〇〇		
団体の申込の場合は、以下 2. で記入してください						
連絡先 住所	〒 —		都道府県名		市区町村名	
電話	— —		FAX	— —		

2. 団体情報 (個人申込の場合は記入不要/法人格のある場合は団体名に含めてご記入ください)

ふりがな	さわやかちょうないかい			設立時期(予定)		
団体名	さわやか町内会			(西暦) 1980 年		
代表者名	福祉 花子	ふりがな	ふくし はなこ	役職名	会長	
住所	〒 〇〇 — 〇〇〇〇 〇		都道府県名	〇〇県	市区町村名	〇〇市
電話	〇〇 — 〇〇〇〇 — 〇〇〇〇		FAX	〇〇 — 〇〇 — 〇〇〇〇		
活動規模	助け合い活動 参加者(1日平均)	50 人/日	会報等 の発行	なし <input type="checkbox"/>	有り:	6 回発行 /年
ホーム ページ	なし <input type="checkbox"/>		有り: URL( <a href="https://www.sawayakachounaikai.or.jp/">https://www.sawayakachounaikai.or.jp/</a> )			

3. 日頃の取り組みについて

団体の場合は、組織的に取り組まれている主な助け合い活動の内容を教えてください  
個人の場合は、日々取り組まれている活動の内容を教えてください

誰に対して、どのくらいの頻度で、どのような取り組みを行っているかなどを含めて、具体的に記載してください。

#### 4. 生活支援コーディネーターとの連携（申込時に推薦が無い場合は報告時に別途報告）

推薦の有無	有り <input checked="" type="checkbox"/> / 無し <input type="checkbox"/>	ふりがな	ひろい きずな		財団記入欄
区分	第1層 <input type="checkbox"/> / 第2層 <input checked="" type="checkbox"/>	氏名	広井 絆		
連絡先 ふりがな	〇〇ちいきほうかつしえんせんたー		電話	〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
連絡先 (組織等)	〇〇地域包括支援センター		Email	hiroi.kizuna @ marumaru-houkatsu.jp	
生活支援コーディネーターとの連携状況があればお書きください					
<p>〇〇区の高齢介護課に電話をかけたところ、第1層生活支援コーディネーター〇〇氏の紹介を受けたので連絡し、居場所を立ち上げたいと話したところ、第2層生活支援コーディネーターの広井氏の紹介を受け、連絡し、推薦の了承を得た。</p> <p>広井氏は、地域情報に詳しく、今回の企画にとっても関心を持ってもらうことができた。地域への周知など今後も応援したいと、心強い言葉をもらうことができ、皆喜んでいる。</p>					

#### 5. 地域の団体等との連携

<p>地元の中間支援組織、他の団体・組織等との連携や協働の取り組みがあればお書きください</p> <p>以前より付き合いのあるNPOがいろいろと協力してくれるので助かっている。</p> <p>今回の企画も、本町内会でサロンを運営しているこのNPOに相談して計画をまとめている。</p> <p>ノウハウなどを教えてもらいながら、運営を進めていきたいと考えている。</p>
--

#### 生活支援コーディネーターとの連携について(補足)

##### 【生活支援コーディネーターについて】

2015年度から、全国の市区町村において、地域で助け合いを推進する「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」と「協議体」(生活支援コーディネーターと協力して共に助け合いを推進する地域の方々)という仕組みがスタートしています。

生活支援コーディネーターは、市区町村において全体を把握しながら助け合いを推進する第1層生活支援コーディネーターと、地域ごとに働きかけを行う第2層生活支援コーディネーターに分かれています(自治体により、異なる場合があります)。

もし、まだご存じない場合は、市区町村の高齢福祉関係の担当課、新地域支援事業の担当者等にお尋ねください。

##### 【生活支援コーディネーターとの連携について】

さわやか福祉財団では、各地の助け合いの推進に向けて、それぞれの皆様の自立的な活動が、地域でつながり合い、連携して進められることを望んでおります。また、地域共生社会の実現に向けて、自主的な地域づくりの活動が、情報を共有しネットワークを組んで進められることを望んでおります。

すでに、地域の生活支援コーディネーターと連携がある場合は、ご推薦の有無と連携の状況についてご記入ください。

これまで特に生活支援コーディネーターと連携がない方々は、今後の皆様の活動の発展や多様な活動とのネットワークに向けた連携づくりにお役立ていただきたいと考えておりますので、ぜひこの機会にご連絡を取っていただくようお願いいたします。

なお、確認ができていない状況でも、申込いただくことは可能です。その場合は、後にご提出いただく活動報告書に記入欄がございますので、それまでにご確認ください。

## 6. 助成金の応募・申請内容（原則 1 回）

この助成金を活用してどのような活動をするのか＞ 活動の目的や狙い（どのような人に向けて、どのような活動をしたいのか）や、地域とのつながり方を含めて具体的な内容をご記入ください。【HPに公開します】	
対象 (複数可)	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 障がい者 <input type="checkbox"/> 生活困窮 <input type="checkbox"/> 外国人 <input checked="" type="checkbox"/> その他(主に町内会、及び近隣の住民)
活動 (複数可)	<input type="checkbox"/> 居場所 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 生活支援 <input type="checkbox"/> 移動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 配食・会食 <input checked="" type="checkbox"/> その他(環境美化、防災等)

以前より、近隣の商店街の空き店舗の活用が町内会で話題になっていた。  
これまでも何度か居場所の企画は挙がったが、立ち上げ資金の当てがなく断念していたが、今回この基金の情報を得て、応募を決意することになった。

もともと町内会のメンバーでは、孤立しがちな高齢者を元気づけるための方法として居場所に注目していた。  
今回の計画では、特に誰でも安心して気軽に立ち寄れる場所として定着させることに注力する。  
当面の目標として、週2回の開催する計画であるが、この基金は特に立ち上げ経費と衛生面に配慮した環境を整えることに活用したい。

この内容は、原則、  
ホームページに  
記載させていただきます。

### 活動のスケジュール（大まかな過程）

時 期		活動の取り組み内容（要点を簡潔記載）
2022 年	8 月	空き店舗の改修準備
2022 年	9 月	空き店舗の改修開始、居場所解説運営準備（備品購入等）、周知
2022 年	10 月	空き店舗の改修終了、周知、オープン(15 日予定)
年	月	
年	月	
2022 年	11 月	※活動報告書提出（助成金使用期間最終日から 1 か月後が期限となります）

### ※【重要】活動報告書の提出について

本基金では、団体様（個人の方）への助成にあたり、報告書の提出をお約束いただいております。  
本活動を通じて、「新たに生まれた地域のつながりや、あなたの想い、気づき」、また、「進めるうえで、どんな課題があったか、どんな点に苦労したか」などについて、ご報告ください。助け合いを全国に広めるために、熱いメッセージをお願いします！

申込金額（税込・上限は 150,000 円です）		138,000 円
助成金の使用期間を記入 （最長 1 年間）	2022 年 7 月 1 日～	2022 年 11 月 30 日
以下に申込全額の内訳と使途を具体的にご記入ください		
費目と内訳		
<p>（立ち上げ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗修繕に伴う費用： 53,000 円（別途見積書添付）</li> <li>その他、立ち上げに要する機材（清掃用具、掲示板 等）の購入： 32,500 円（別途見積書添付）</li> </ul> <p>（運営）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消毒スプレー： 1,500 円（税込） × 3 本 × 3 か月 = 13,500 円</li> <li>消耗品（紙コップや食器等）： 1,000 円（税込） × 2 回 × 4 週 × 3 か月 = 24,000 円</li> </ul> <p>水道光熱費： 5,000 円（税込） × 3 か月 = 15,000 円</p>		
必要な理由と期間後の計画		
<p>立ち上げに伴う改修費は不可避でこれまでの課題だったが、今回商店街組織との連携で店舗改修費を折半し、大幅に抑えることができた。</p> <p>その他、機材については持ち寄りで、可能な限り購入品を少なくしているが、今後の運営を想定しながら選定した。運営に係る備品も、協議の結果、衛生面で欠かせない物品について選定した。</p> <p>今後、必要になる運営費は、参加者に会費を募る（チケットを購入してもらう）ことで、継続できる仕組みを確立させる予定。</p>		
助成金を申し込む理由として、この活動の実施に＜必要な総額＞		338,000 円

## 7. 「応募した活動」に対する他の助成金等の申込・受領状況

本助成以外の費用の＜調達方法＞をご記入ください	
<p>本助成以外に、150,000 円の助成を獲得した。また現在 50,000 円分の申請を別途行っている。</p> <div> <p>必要になる立ち上げ資金は 設備にかかる費用（椅子、テーブル、照明器具 など）が 50,000 円 加えて、当面の運営費 家賃（商店街組織と折半）：35,000 円 × 3 か月 = 105,000 円 は、「愛の〇〇基金」でほぼ調達できた。</p> <p>また、現在申請中の補助金は、その他の運営費・茶菓子代等：15,000 円 × 3 か月 = 45,000 円 として、活用する予定。</p> </div> <div> <p>他の助成金の 活用状況などを含め できるだけ具体的に ご記入ください</p> </div>	

(申込中)

他団体等への補助金・助成金の申込状況		ある(公的なものを優先し、現在申込中の2件まで記入)		<input type="checkbox"/> 無い
名称(1件目)	〇〇財団「〇〇補助金」	金額(概算)	50,000	円
名称(2件目)		金額(概算)		円

(受領済)

他団体等からの補助金・助成金の活用実績		ある(現在活用中も含め直近2件まで記入)		<input type="checkbox"/> 無い
名称(1 件目)	「愛の〇〇基金」			
受領時期	2020	年	6 月	金額(概算) 150,000 円
名称(2件目)				
受領時期		年	月	金額(概算) 円

## 8. 口座番号

金融機関コード (数字4桁)	〇〇〇〇	金融機関名	〇〇銀行	口座名義 (フリガナ)	サワヤカチヨウナイカイ
本・支店コード (数字3桁)	〇〇〇	本・支店名	〇〇支店	口座名義	さわやか町内会
預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 その他 ( )			口座番号	1234567

## 9. 添付資料について

応募団体の活動状況を知りたいため、次のような資料で既存のものがあればその写しを、ない場合は使用しているチラシなど団体の活動の内容や収支の状況が何らかわかるものをご提出ください。個人での応募の場合は、活動の計画をまとめたもの、主な活動の履歴などをご提出ください。

- ・定款または会則、活動趣意書
- ・当期の事業計画書と収支予算書
- ・作成した直近年度の事業報告書と計算書類

誓約書

当財団ホームページからダウンロードし、必要事項をご記入ください。

### ■注意事項

- ・記入洩れや、添付洩れが無いように、ご提出前によく確認してください
- ・電話番号は、日中つながる番号を記載してください
- ・記載スペースが不足する場合は、この用紙(フォーム)で簡潔にまとめた上で、別紙を添えてください

Word 形式の  
ファイル送信に  
ご協力願います

申込書をパソコンで作成入力する場合は、指定の Word 形式のままファイルをメールで送信してください

つながろう、心で 広げよう、笑顔の助け合い！  
「地域助け合い基金」で コロナ禍を乗り越えて共生社会へ

記入例  
(既存活動運営継続のケース)

助成 申込書

記入日: 2022 年 〇 月 〇 日

団体申込の場合は所属の役職をご記入ください

1. 申込担当者情報

所属区分	団体 → ( 法人格: あり <input type="checkbox"/> / なし <input checked="" type="checkbox"/> )		財団 記入欄	—	
担当者名	輝 一郎	ふりがな	かがやき いちろう	役職名 (団体の方)	副会長
担当者 Email	kagayaki-nol- wonderful @ email.com		担当者 携帯	〇〇〇 — 〇〇〇〇 — 〇〇〇〇	
団体の申込の場合は、以下 2. で記入してください					
連絡先 住所	〒 —	都道府県名		市区町村名	
電話	— —		FAX	— —	

2. 団体情報 (個人申込の場合は記入不要/法人格のある場合は団体名に含めてご記入ください)

ふりがな	たすけあいちょうないかい			設立時期(予定)	
団体名	たすけあい町内会			(西暦) 1980 年	
代表者名	絆 優太	ふりがな	きずな ゆうた	役職名	会長
住所	〒 〇〇〇 — 〇〇〇〇	都道府県名	〇〇県	市区町村名	〇〇市
電話	〇〇 — 〇〇〇〇 — 〇〇〇〇		FAX	〇〇 — 〇〇 — 〇〇〇〇	
活動規模	助け合い活動 参加者(1日平均)	50 人/日	会報等 の発行	なし <input type="checkbox"/> 有り: 6 回発行 /年	
ホーム ページ	なし <input type="checkbox"/> 有り: URL( <a href="https://www.tasukeaichokai.or.jp/">https://www.tasukeaichokai.or.jp/</a> )				

3. 日頃の取り組みについて

団体の場合は、組織的に取り組まれている主な助け合い活動の内容を教えてください  
個人の場合は、日々取り組まれている活動の内容を教えてください

誰に対して、どのくらいの頻度で、どのような取り組みを行っているかなどを含めて、具体的に記載してください。

#### 4. 生活支援コーディネーターとの連携（申込時に推薦が無い場合は報告時に別途報告）

推薦の有無	有り <input checked="" type="checkbox"/> / 無し <input type="checkbox"/>	ふりがな	ひびの きえ		財団記入欄
区分	第1層 <input type="checkbox"/> / 第2層 <input checked="" type="checkbox"/>	氏名	日比野 喜恵		
連絡先 ふりがな	□□ちいきほうかつしえんせんたー		電話	〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
連絡先 (組織等)	□□地域包括支援センター		Email	kie.hibino @ kakukaku-houkatsu.jp	
生活支援コーディネーターとの連携状況があればお書きください					
<p>日頃から協議体構成員として連携している第2層生活支援コーディネーターの日比野氏に電話をかけ、推薦の了承を得た。</p> <p>日比野氏は、これまでも町内会の活動を地域にも周知し協力者を広げるために、フットワーク軽く情報を共有してくれるので感謝している。</p>					

#### 5. 地域の団体等との連携

地元の間支援組織、他の団体・組織等との連携や協働の取り組みがあればお書きください
<p>協議体の構成員として町会からも参画している。協議体にはメンバーに子育て支援の NPO がいるので、今後ノウハウなどを教えてもらいながら、運営を進めていきたいと考えている。</p>

#### 生活支援コーディネーターとの連携について(補足)

##### 【生活支援コーディネーターについて】

2015年度から、全国の市区町村において、地域で助け合いを推進する「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」と「協議体」(生活支援コーディネーターと協力して共に助け合いを推進する地域の方々)という仕組みがスタートしています。

生活支援コーディネーターは、市区町村において全体を把握しながら助け合いを推進する第1層生活支援コーディネーターと、地域ごとに働きかけを行う第2層生活支援コーディネーターに分かれています(自治体により、異なる場合があります)。

もし、まだご存じない場合は、市区町村の高齢福祉関係の担当課、新地域支援事業の担当者等にお尋ねください。

##### 【生活支援コーディネーターとの連携について】

さわやか福祉財団では、各地の助け合いの推進に向けて、それぞれの皆様の自立的な活動が、地域でつながり合い、連携して進められることを望んでおります。また、地域共生社会の実現に向けて、自主的な地域づくりの活動が、情報を共有しネットワークを組んで進められることを望んでおります。

すでに、地域の生活支援コーディネーターと連携がある場合は、ご推薦の有無と連携の状況についてご記入ください。

これまで特に生活支援コーディネーターと連携がない方々は、今後の皆様の活動の発展や多様な活動とのネットワークに向けた連携づくりにお役立ていただきたいと考えておりますので、ぜひこの機会にご連絡を取っていただくようお願いいたします。

なお、確認ができていない状況でも、申込いただくことは可能です。その場合は、後にご提出いただく活動報告書に記入欄がございますので、それまでにご確認ください。



## 6. 助成金の応募・申請内容（原則 1 回）

この助成金を活用してどのような活動をするのか＞  
活動の目的や狙い（どのような人に向けて、どのような活動をしたいのか）や、地域とのつながり方を含めて具体的な内容をご記入ください。【HPに公開します】

対象 (複数可)	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 障がい者 <input type="checkbox"/> 生活困窮 <input type="checkbox"/> 外国人 <input checked="" type="checkbox"/> その他(主に町内会、及び近隣の住民)
活動 (複数可)	<input type="checkbox"/> 居場所 <input checked="" type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 生活支援 <input type="checkbox"/> 移動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 配食・会食 <input checked="" type="checkbox"/> その他(環境美化、防災等)

もともと近隣商店街の空き店舗の活用として、町内会で立ち上げた居場所を発展させたいと考えていたが、地域から、子どもたちの居場所も欲しいと希望があり、今回の計画を立てた。  
 これまでは、孤立しがちな高齢者を元気づけることを目的として立ち上げた居場所だが、今回対象者を広げ地域誰でも参加できる場所をつくることとし、これに伴い週 2 回の開催日を週 4 回に拡大して運営する計画を立てた。  
 今回の計画では、特に誰でも安心して気軽に立ち寄れる場所として定着させることに注力する。  
 この基金は運営拡大に伴い、主に子どもの参加により必要となる資金に活用したい。

この内容は、原則、  
ホームページに  
記載させていただきます。

### 活動のスケジュール（大まかな過程）

時 期		活動の取り組み内容（要点を簡潔記載）
2022 年	9 月	空き店舗の改修準備
2022 年	10 月	空き店舗の改修開始、居場所解説運営準備（備品購入等）、周知
年	月	
年	月	
年	月	
2022 年	11 月	※活動報告書提出（助成金使用期間最終日から 1 か月後が期限となります）

### ※【重要】活動報告書の提出について

本基金では、団体様（個人の方）への助成にあたり、報告書の提出をお約束いただいております。  
 本活動を通じて、「新たに生まれた地域のつながりや、あなたの想い、気づき」、また、「進めるうえで、どんな課題があったか、どんな点に苦労したか」などについて、ご報告ください。助け合いを全国に広めるために、熱いメッセージをお願いします！



申込金額（税込・上限は 150,000 円です）		83,000 円
助成金の使用期間を記入 （最長 1 年間）	2022 年 9 月 1 日～ 2022 年 11 月 30 日	
以下に申込全額の内訳と使途を具体的にご記入ください		
<b>費目と内訳</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども用新規消耗品（紙コップや食器等）： 500 円 × 4 回 × 4 週 × 3 か月 = 24,000 円</li> <li>子ども用食費： 100 円 × 10 人 × 4 回 × 4 週 × 3 か月 = 48,000 円</li> <li>水道光熱費（増加分）： 2,000 円 × 3 か月 = 6,000 円</li> </ul> フロアマット（子供の転倒対策として）： 5,000 円 <div style="text-align: right;">計 83,000 円（税込）</div>		
<b>必要な理由と期間後の計画</b> <p>これまでの運営に補填する形で、必要になる経費を計画した。          開催日を増やすことについて、町会でアンケートを取り賛同者の多さを確認し、          すでに、町内会の働きかけとして募った寄付が集まり始めている。          本計画では、新規の参加者となる子どもの負担は考えていないが、参加者を増やすなどして          その後の運営資金を募る。また、商店街や地元企業にも協力をもとめ、引き続き寄付を募りながら、          継続できる仕組みを確立させる予定。</p>		
助成金を申し込む理由として、この活動の実施に＜必要な総額＞		106,500 円

## 7. 「応募した活動」に対する他の助成金等の申込・受領状況

本助成以外の費用の＜調達方法＞をご記入ください	
町内会の働きかけで、集まった寄付を広報の資金に活用する予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>広報に係る費用（チラシ印刷費）： 23,500 円</li> </ul> 総額： 83,000（上記助成使途の通り） + 23,500 = 106,500 円	<div style="border: 2px dashed blue; padding: 10px; text-align: center;"> <b>他の助成金の 活用状況などを含め できるだけ具体的に ご記入ください</b> </div>

(申込中)

他団体等への補助金・助成金の申込状況		ある(公的なものを優先し、現在申込中の2件まで記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 無い
名称(1件目)		金額(概算)	円	
名称(2件目)		金額(概算)	円	

(受領済)

他団体等からの補助金・助成金の活用実績		ある(現在活用中も含め直近2件まで記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 無い
名称(1件目)				
受領時期	年	月	金額(概算)	円
名称(2件目)				
受領時期	年	月	金額(概算)	円

## 8. 口座番号

金融機関コード (数字4桁)	〇〇〇〇	金融機関名	□□銀行	口座名義 (フリガナ)	タスケアイチヨウナイカイ
本・支店コード (数字3桁)	〇〇〇	本・支店名	□□支店	口座名義	たすけあい町内会
預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座   その他 (   )			口座番号	9876543

## 9. 添付資料について

応募団体の活動状況を知りたいため、次のような資料で既存のものがあればその写しを、ない場合は使用しているチラシなど団体の活動の内容や収支の状況が何らかわかるものをご提出ください。個人での応募の場合は、活動の計画をまとめたもの、主な活動の履歴などをご提出ください。

- ・定款または会則、活動趣意書
- ・当期の事業計画書と収支予算書
- ・作成した直近年度の事業報告書と計算書類

誓約書

当財団ホームページからダウンロードし、必要事項をご記入ください。

### ■注意事項

- ・記入洩れや、添付洩れが無いように、ご提出前によく確認してください
- ・電話番号は、日中つながる番号を記載してください
- ・記載スペースが不足する場合は、この用紙(フォーム)で簡潔にまとめた上で、別紙を添えてください

Word 形式の  
ファイル送信に  
ご協力願います

申込書をパソコンで作成入力する場合は、指定の Word 形式のままファイルをメールで送信してください

地域助け合い基金

## ご理解いただきたい3つの特長

---

～ 私たちの助成に向けた想いをお伝えします ～

## ～ 地域助け合い基金 ご理解いただきたい3つの特長 ～

### ① 全国からいただいた貴重な寄付金を活かして、共生の活動を広げる



ちょっと教えてほしいんだが、さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」は何を原資にしてるんだい？

実は、「助け合いを広めて欲しい」と想いのこもった貴重なお寄付を原資にしています。  
そのため助成金が寄付金の額を上回ってしまうと、申請をいただいても助成することができなくなってしまうんです。



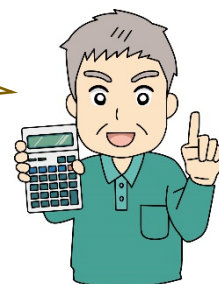
ホームページに「助成可能額」と書いてあったのは、そういう理由なのか。



上限を定めたり、回数を原則1回と定めているのも広く多くの活動を応援したいからなんです。



そうか。寄付者の気持ちを考えたら、1円も無駄にはできない貴重なお金だね。私たちの計画にも、節約のアイデアや工夫が必要だな。



これまでもいろいろなアイデアがありましたよ。  
例えば、無料で提供されているサービスを上手に活用して節約したり、地域の人たちの応援で、機材備品を譲ってもらえたという報告もありました。



なるほど！できることから始めて、徐々に活動を発展させていく発想だね。確かに地域の人たちの協力があれば、活動も続けやすくなるな。私たちも、たくさん情報を集めてしっかりと計画してみるよ！



#### さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」の特長 その1：基金の原資は貴重な寄付

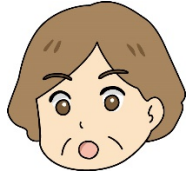
この基金は、助け合いを広げたいという想いに共感し日々財団に届けられる全国からの貴重なお寄付を原資としています。そのため、申し込みの受付は特別な期限を設けず、随時受付しています。

一方、いくら寄付者を多く募っても、お預かりした寄付金が希望される助成金を下回ってしまうと、この仕組みではその時点で助成を行うことができません。


この基金を継続させるために、助成を受ける活動者の方々にも、有効活用に向けた工夫、徹底した節約を考えた助け合い活動の内容を申込書に記載いただけることをお願いします。

## ～ 地域助け合い基金 ご理解いただきたい3つの特長 ～


### ② 地域で連携して、共生の活動を広げる




あの一。この基金の説明にある「地域共生社会」って、なんだかよくわからないんですけど。どんな活動なら助成を受けられるのかしら？




基本的には、政治活動や宗教活動などは対象外ですが、それ以外の国内で行われる活動なら、分野や対象者については原則問いません。この基金では、できるだけ広く助成することを想定していますよ。




えっ！実は私「ウォーキング」が趣味なのよ。同じ趣味のお友達といつも一緒に活動してるんだけど、これも応援してくれるの？




健康的でいいですねえ。ただ、この基金で最も重要視している要素は「地域との連携」です。今のお話も、単に仲間と趣味を楽しむだけではなく、地域の人たちとのつながりを広げることを目的とした活動なら、助成の対象になるかもしれませんよ。



それなら、私たちのグループでは地域に何か役立つことが無いかと話し合っ、ウォーキングコースのゴミ拾いの取り組みをはじめたところなの。それで先日、「もっと仲間を増やしたい！」なんて、みんなで盛り上がってたんだけど……。やってみると、清掃道具やゴミ袋とか思いのほか費用がかかるので、このお金をどうしようかって悩んでたのよね。



その取り組みを継続させるために、この基金が活用されるなら素晴らしいですね！生活支援コーディネーターと連携して、地域のニーズを確認したり、協力者を増やしてコミュニティを広げてみることをお勧めします！



なんだか私たちも、もっと広く地域とつながれる気がしてきたわ。さっそくコーディネーターに相談しに行こうっと！

#### さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」の特長 その2：基金の目的は地域連携を重視した活動支援

この基金のサブタイトルにも含まれる「地域共生社会」というキーワード。スケールが大きくて、わかりにくいという声もありました。もう少しポイントを具体的に表現すると、お申込みいただく際に「地域連携」の要素が含まれているかを確認してください。つまり自分たちだけの趣味や、その組織の設備投資などではなく、その活動を通じて、地域の人たちがどのようにつながっていくのか。さらにはその活動の協力者として仲間になってもらうことができるのか。その将来的な目標を見据えた企画であれば、私たちは活動の立上げや継続・発展のために、幅広く本助成基金を活用いただきたいと思います。



## ～ 地域助け合い基金 ご理解いただきたい3つの特長 ～

### ③ 「情熱」を共有し高め合って共生の活動を広げる



代表をされている団体は、この基金で助成を受けたんですよね。他の助成金と比べると、対象の活動も幅が広いし、使途についても柔軟に対応してもらってるって本当ですか？



でも、私たちは、逆にプレッシャーを感じたわよ。だって、報告書を提出しなきゃいけないからね～。



報告書？私、経理には自信あるの。正確な報告なら任せて！



わ～心強い。だけど、それだけじゃないのよ。この基金って申込書と報告書の一部がホームページに掲載されるの知ってる？

もちろん知ってますよ～。でも、それが何か・・・



そ～なんですっ！僕たちは、報告の内容を情報公開して、この基金にご寄付いただいた方をはじめ、広く全国に向けて皆さんの助け合いに対する「熱い思い」を伝えたいんですっ！

え～～っ！私にそんなすごい報告書が作れるかしら・・・。  
すごく不安になってきちゃったわ。



心配しないでください！その活動に対する思いや現場の声をそのまま書いていただければいいんです。申込書では、その計画に込められた思いを。また報告書では、この助成金の使い道もさることながら、その活動で地域の人たちからどんな反応があったのか、現場の生の声とともに、その活動が発展して行く様子を全国に伝えていきたいんです！

つまり、地域で私たちが行う活動に込められた「情熱」に大きな期待がかかっているってことね。一つ一つの活動の情報が、全国の助け合いに少しでも役立つなら、私も頑張ってみようかな！



#### さわやか福祉財団の「地域助け合い基金」の特長 その3：皆さんの想いを全国の助け合い活動のヒントに！

私たちは、この基金で助成する活動を応援する気持ちとともに、とても大きく期待していることがあります。それは、その活動がどのように地域に影響を与えたか報告をいただくことです。すでにお伝えしましたが、この基金は助け合いを広げたいという願いを、全国からご寄付という形で受けています。だから活動の報告には、この基金がどのように活用されて、地域にどれだけ助け合いが広がったのか。さらには、申込書にも、どれだけ「情熱」をもってその活動を実践したいと考えているのか。ぜひ、皆さんの熱いメッセージを書き込んでいただきたいのです。その情報が全国で活動する人たちへのヒントとなり広がります。